

| | | |
|---------|---|-----------------|
| 7 | デジタルサービス局 | 都市のデジタルツインの実現 |
| 事業概要 | <p>デジタルツインの社会実装に向けた実証プロジェクトの実施や、有識者による検討会の開催を通じて、2030年までに9つの分野（防災・まちづくり・モビリティ・エネルギー・自然・ウェルネス・教育・働き方・産業）においてサイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）の融合によるデジタルツインの実現に向けた取組を推進する。</p> <p>※ デジタルツイン：現実空間で収集したデータを仮想空間に3Dで「双子（ツイン）」のように再現し、AIによって高度な分析、シミュレーションを可能とするもの</p> | |
| これまでの経過 | <p>令和2年度に「3Dビジュアライゼーション実証プロジェクト」事業を実施し、令和3年度からは「東京都デジタルツイン実現プロジェクト」を立ち上げ、デジタルツインの実現に向けた取組を本格化させた。令和3年6月には、有識者等で構成する「東京都における『都市のデジタルツイン』社会実装に向けた検討会」を設置し、年度内の計4回の開催の中で、デジタルツインの有用性の検証や今後の目指すべき姿などについて議論を行い、その成果として「デジタルツイン社会実装に向けたロードマップ」の初版を策定した。</p> | |
| 現在の進行状況 | <p>令和4年度は、庁内の地理空間データ等を局横断的に連携するための「デジタルツイン基盤」の構築を行っており、年度内での完成を目指すとともに、本基盤と庁内各局の既存システムとの連携方針の検討を行っている。</p> <p>令和3年度に策定した「デジタルツインの社会実装に向けたロードマップ初版」については、庁内各局からの意見や有識者の助言を反映させ、第2版への更新を目指している。</p> <p>また、都民が実際にデジタルツインを見て体感できるサイトとして昨年7月に開設したデジタルツインの専用Webサイトについては、引き続き各局が管理する様々なデータを追加し、3Dビューアで表現、発信する取組を行っている。</p> <p>技術実証として、「衛星データを活用した予兆検知高度化検証」、「地下埋設物の3D化の社会実装に向けた課題整理」及び「産学官でのデータ連携に向けた課題検証」の3件を実施している。</p> <p>さらに、各局及び民間事業者が活用できる共通基盤データとして、地物や地形などを3次元にモデル化するために必要な点群データの取得・整備を進めており、将来的には整備後のデータを3Dビューア上でも活用することで、デジタルツイン基盤の高度化につなげる。</p> <p><有識者検討会開催実績> 令和4年6月28日 第1回開催 令和4年8月30日 第2回開催</p> | |
| 今後の見通し | <p>2030年のデジタルツインの実現に向けて、庁内データ連携基盤構築や活用事例創出の取組を通じて、都庁内外のデータ連携先を拡大していく（令和6年度までに9件目標）。</p> <p>また、デジタルツインの基礎となる3D地形データを都内全域で整備し、令和5年度からこれを公開し、各局の事業等での活用を目指す。</p> | |
| 問い合わせ先 | デジタルサービス局 デジタルサービス推進部 デジタルサービス推進課 | 電話 03-5320-7622 |

